

兵庫商品開発プロジェクト DEN

西田愛鹿 ギルバート木香（環境人間学部 食環境栄養課程 2 回生）

キーワード：地域交流，食文化，多世代交流

1. 団体概要

食環境栄養課程の学生で構成された団体であり、「田畑からの恵みを町へ」をコンセプトとしている。季節にあった料理のレシピなどを考案し、SNS への投稿で拡散している。地域のおいしい旬の食材を使ったレシピや商品の開発、食イベントへの参加をすることで、生産者と消費者をつなげたいという想いで活動している。

2. 2023 年度の活動

2023 年度の主な活動を表 1 にまとめた。昨年までも行っていた、毎月のレシピ考案、そして SNS への投稿の活動を本年度も継続して行った。その月ごとに旬の食材や、イベントに合わせたレシピを考え、試作、投稿までを皆が体験することができた。

また、もち麦班による食育教室も継続して行うことができた。小学生と一緒に作れるかつ、地域の食材であるもち麦を生かしたレシピを準備した。当日は小学生のグループに 1 人ずつが先生として混ざり一緒に料理を完成させた。エコフェスでは本年か

表 1 2023 年度の主な活動

時期	内容
4, 5 月	春フェスでの調理・提供
7 月	エコフェスでの調理・提供
11 月	もち麦班による食育教育

注) SNS への投稿は随時おこなった



写真 1 食育活動で作成した料理（左）
SNS で投稿した七夕料理（右）

ら料理を提供することが可能となったため「ワッフル風ホットサンド」を調理、提供した。

3. 活動を通して学んだこと

コロナによる制限が緩和され、学内での活動の幅を広げられた 1 年であった。エコフェスや春フェスで実際に自分たちの作った料理を提供することができたことで、提供に際して重要な衛生上の注意や、その制限がある中でのレシピ作成の工夫を学ぶことができた。また、その活動の中で自分たちが作った料理を食べてもらい、おいしいと言ってもらえる喜びを感じられた。

4. 今後の展望

具体的な活動内容については現在検討中であるが、食環境栄養課程で得た知識を活用できる場となるよう、様々な活動を行っていきたいと思う。

DEN はコロナ渦の後、活動体制がなかなか整わなかった。その一方で、今は何を軸にして活動していくのか考え直す良い機会ではないかと考えている。活動したいという想いを持つメンバーはたくさんおり、その熱意で協力して頑張っていきたいと思う。DEN は、学友と意見交換しながら自分達の食の興味をより深めていくことができる団体であり、この場をぜひ有効活用していきたい。まずは、色々な食材を使って料理の試作活動を定期的に行い、大学内外のイベントなどにも臨機応変に対応できる体制作りをしていきたいと考えている。また、レシピ考案には兵庫県の食材を用いることで、地域に根差した食文化について理解を深められるようにしたい。SNS 投稿は今後も学生団体 DEN について知ってもらうためのツールとして、活発化させていきたいと思う。